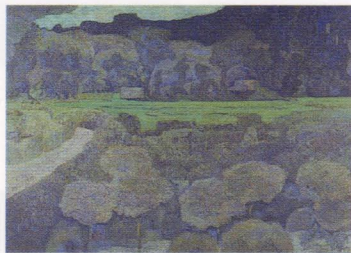


右:トマス・ゲインズボロ  
《牧夫と牛のいる森の風景》  
左:サー・アルフレッド・イースト  
《荒れ模様》

## 第2室 イギリスの風景画名作選

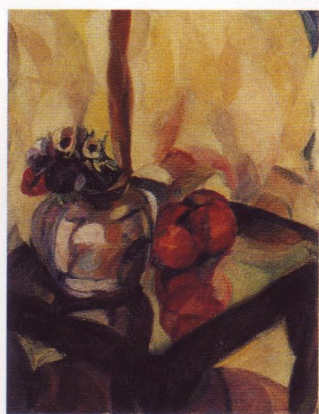
変化に富むイギリスの自然美が描かれた風景画と、明治期に来日したイギリス人が描いた日本の風景画。日本でも珍しいコレクションです。当館の二大“看板娘”《ジェーンの肖像》《フローラ》も展示しております。



## 第1室 郷土の美術 ふるさとへの想い

福島ゆかりの作家の、主に戦後の作品を展示。人、風景、歴史など、多様な郷土性が感じられます。

右:佐藤静司《風紋》  
上:安藤重春《みちのく(蓮田の道)》



## 第3室 日本の近代美術

明治から昭和戦前までの油絵、水彩画の名品を展示。日本の近代美術の流れをたどることができます。福島の飯坂温泉の絵もありますよ。

左:白滝幾之助《編み物をする少女》 右:恩地孝四郎《黒い机》

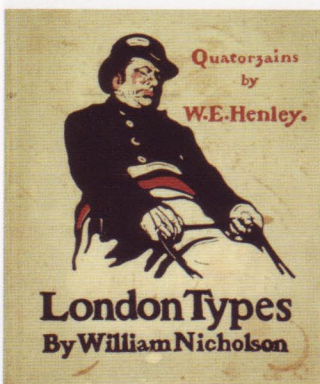
# ふるさとへの 想い

—— 収蔵品名作選

10月16日(日)まで  
場所:2階常設展示室

今年度最初の常設展は、再オープンにあわせてコレクションの名品を展示しています。震災から守られた郷土の宝を、これからも大切に保管・展示していきたいと思えます。

※常設展示は、3か月に1回のペースで展示替えを行います。



## 第4-1室 本の美術

挿絵、装丁、文字体・本は、見どころたくさん。イギリスと日本の様々な本を展示しています。



上:ウィリアム・ニコルソン  
「ロンドン・タイプ」  
下:バーンジョーンズ(画)  
ケルムスコット・プレス版  
「世界の果ての泉」

## 第4-2室 ガラス百態

郡山市出身のガラス工芸家・佐藤潤四郎の作品を中心に展示。愛らしいキャラクター“ガラスの神様”もいます。ぜひ見つけてくださいね。

右:《花器・何をしようか》  
右下:《ブルー花器》  
下:《オブジェ・仏足跡ロータス》  
左下:《オブジェ・ガラスを吹く人》部分

